

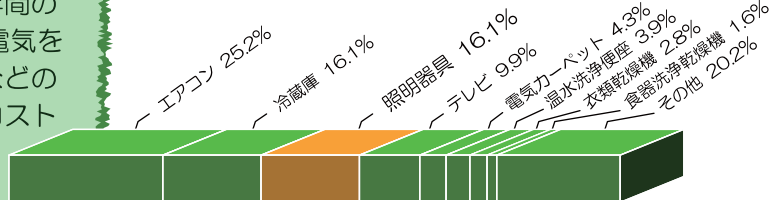
省エネ照明導入ひょうご大作戦



1879年（明治12年）10月、エジソンの白熱電球は、フィラメントに京都八幡の竹を使用することで長寿命の点灯に成功し、その後実用化されました。

それから130年後の現在、白熱電球などの照明は、私たちの生活にかかせない存在となっています。しかし年間の消費電力量が約16%を占め、家庭で2番目に多くの電気を消費している照明も白熱電球から電球形蛍光ランプなどの省エネ性能の高い照明機器を選択することで長期的コスト減やCO₂排出量削減につながり、家計にやさしく地球にもやさしい第一歩となります。

■家庭における消費電力量ウェイトの比較



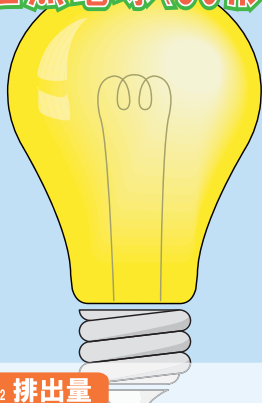
参考・引用：「省エネ性能カタログ」2007冬版 / 省エネルギーセンター



白熱電球と電球形蛍光ランプ（省エネ照明）のコスト比較

電球形蛍光ランプは白熱電球に比べて値段は高いものの消費電力は、同じ明るさの白熱電球の4分の1以下、寿命は約6倍です。同じ明るさの白熱電球（54W）と電球形蛍光ランプ（12W）を比較した場合どちらがお得でしょうか？

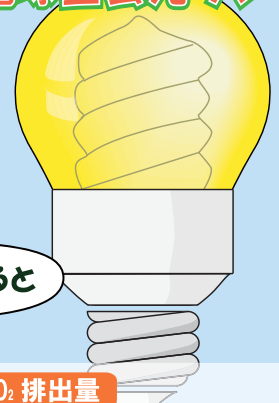
白熱電球(60形)



CO₂ 排出量
約 109.5 kg/6千時間

54W	消費電力	12W
1,000時間	寿命	6,000時間
168円	価格	1,890円
7,452円	電気代	1,656円
8,460円	総コスト	3,546円

電球形蛍光ランプ



CO₂ 排出量
約 24.3 kg/6千時間

電球形蛍光ランプは

4,914円のお得

総コスト差を比べると



電球形蛍光ランプに取り替える。

54Wの白熱電球から12Wの電球形蛍光ランプに交換した場合（2,000時間/年使用を6個取替）

CO₂ 削減量 約 170.4 kg/年間

節約 約 11,600 円/年間



県内全世帯が電球形蛍光ランプに取り替える。

左記と同条件の場合（220万世帯のうち79%の世帯で取替）

CO₂ 削減量 約 296.1 kt/年間

杉の木の吸収 約 2,115 万本/年間



電球形蛍光ランプの点灯時間を短く。

12Wの電球形蛍光ランプ1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合

CO₂ 削減量 約 1.5 kg/年間

節約 約 100 円/年間

※ 電球形蛍光ランプお買い求めの際は、ランプの大きさや、ソケットのサイズを十分ご確認ください。また、照明器具によっては、使用できない場合がありますのでご注意ください。

